

ACP 研修会

セントケア和歌山主催の ACP 研修を開催しました。
講師は伏虎リハビリテーション病院の中谷院長、初めての ZOOM を使った研修。

今回はセントケア四国のスタッフも聴講し、全体で 40 名を超える参加でした。

人生の最終段階での本人の思いにどう寄りそうのか、それぞれ関わっていることですが、難しい問題です。

「最期はどこで迎えますか?」、「自宅です」、「延命措置はどうしますか」、「希望しません」、そのやり取りを書面にすることが本人の尊厳を大事にすること、と勘違いしがち。

人の気持ちや考えは変わるもの、それにどう寄りそうのかが ACP の基本です。

最期をどうするかなんて縁起でもない、と思うのが日本人の文化かもしれませんが、話す目安は「この患者さんが 1 年以内に亡くなったら驚くか」という質問に、「NO」と思える時期。

なるほどです。

ACP について常に意識しておくことが大事だと感じました。

今後もケアに必要な役に立つ研修会を開催したいと思います。

中谷院長、ありがとうございました。

参加された皆さん、お疲れさまでした。

